

現代社会におけるシャーマニズム

石川 雅 健

キーワード：シャーマニズム、シャーマン、パーソナリティ

1. はじめに

沖縄本島をはじめ周辺離島・奄美諸島に古来より存在する民間の巫女・シャーマンのことを一般にユタと呼び、運勢の吉凶、死者の口寄せ、先祖事などの霊的相談に応じている。ユタは、人によってあるいは地域によっては、「カンカカリヤ（神懸かり）」「ムンスイ（物知り）」「カンヌプトウ（神の人）」「カミンチュ（神人）」などとも呼ばれ、「野のカウンセラー」として昔からカウンセラーや精神科医などの治療者の役割も果たしている。歴史的には、ユタ禁止、ユタ征伐、ユタ狩りなど、琉球王国時代から明治政府、戦時体制下まで幾度もユタが禁圧された史実があるが、民衆の要求に支えられて潜伏し、いままで生き続けている。青森のイタコなどは絶滅寸前のようなのだが、沖縄・奄美のユタは、民衆の必要性に応じて、また最近ではインターネットを用いるなど従来とは形を変えつつその数は増えているという報告もある。1997年の多文化間精神医学会のシンポジウム「癒しと文化—土着の中の普遍—」では、ユタは地域の精神保健を担っていたという意見も出ており、ユタによって「精神的安定」が得られ、それが沖縄人の長寿の秘訣の一つとする見解さえある。今改めて、沖縄の文化・風習・伝統、生活などを見直し、探ることは、本来の日本人の心の安定に繋がるものと考えられ、そうした精神文化の源でもあるシャーマン（ユタ）のパーソナリティと関連した様々な現象を捉える。

シャーマニズムの研究は、シャーマンを取り巻く現象（成巫過程、イニシエーション、修行、衣装や装具、呪術、世界観など）をテーマとすることが多く、シャーマン（ユタ）自身の

パーソナリティを捉えようとした研究は少ない。そこで、本稿ではCMI健康調査表（Cornell Medical Index-Health Questionnaire）から捉えた人格を垣間見ることがを試みる。また、変化しつつあるシャーマン（ユタ）を取り巻く現状を把握したい。

2. 目的および調査方法と対象

今回は、2人のCMI健康調査表（以下CMIと略）および名古屋大学式ロールシャッハ・テストの回答結果とインタビュー内容から沖縄の神々に呼ばれ不思議な力を持つユタのパーソナリティについて垣間見る。

(1) 目的：ユタ業やカミゴトを継続することは、さまざまなカミダマリ（カミの召命による心身不調）を乗り越えることで成立する。そうしたユタ（シャーマン）のパーソナリティ（身体・精神的自覚症状）は如何なるものかを探る。

(2) 方法：CMI健康調査表を用いる。

CMIは、1949年ニューヨークのコネル大学のBrodmanらによって、患者の心身両面にわたる自覚症状を比較的短時間のうちに調査することを目的として考案された質問紙法のテストであり、CMI日本語版は、1956年に金久卓也、深町健らによって翻訳・質問項目追加がなされた。12区分の身体的項目と6区分の精神的項目について195の質問から構成されている。その回答結果に基づいて神経症を4段階に分けて判別する。

(3) 対象と検査日時：Bさん：2008年12月25日、Cさん2009年3月4日

事例1 Bさん（女性、検査時46歳）

3歳のある昼中、X島内の路上でムルクムナリ（弥勒菩薩）に出会う。以後、幼少期から風邪や足が痛くなったり、もどしたりしたが、病院に行くとい何でもないと言われた。中学までは体調不良が続いたため、以後島内に住む本家の人（ティーン（天）ユタ：一族を守るユタ）にお祈りをしてもらっている。X島から離れた高校生頃から霊を見るようになる。また、家の中では、ポルターガイスト現象も起き始めたため、母親がユタのところへ行き、お祈りをして「封印」することに。高校卒業後19歳で就職するが、霊的なものを見たり感じたりし続けた。29歳で結婚。子どもが生まれてから、人が言っていることと感じていることの違いやズレが分かってしまう。特にご主人の叔母さんがユタで、祈りと思っていることが違うということが分かってしまった。そのうち眼が開いたままの状態でも眠れない状況が続いたため自ら精神病院へ赴き、投薬を受けるが、却って眼がはっきりとして眠れず。他の病院にも通院してみるが改善されず、「薬じゃない」（薬では治らない）と感じる。その後X島へ戻り、島に戻った途端爆睡し1日中寝てしまう。33歳の時「私は神世のことをしなくてはいけないので」と夫と離婚。

直後に大量吐血。本島の病院にて再検査するが原因不明。その間も全身に電気がビリビリ走る。

ユタを訪ねると、「祈りをやらないといけない」言われる。さらに他の神人からも「貴女はチジ（自分の神様）を持っている」と言われ、神様に導かれ自分に磨きをかけるようになる。

事例2 Cさん（男性、検査時62歳）

小さい頃から中学生位まで、身内が亡くなることが3日前に分かる。X島の中学を卒業し、本島の工業高卒後設計事務所に就職した後、東京で働いた。

28歳、沖縄に戻り、高校に再入学した後、31歳から建築設計の道に進む。36歳で結婚、独立。最も忙しい時は夜中3時まで働き、そうした無理が祟ったのか、49歳の時、脳梗塞で倒れ左半身麻痺となるが、夢の中で病気の治し方を教えられる。信じてたかったが、実際、麻痺も取れ治癒する。こうした経験は眠っていた能力を元に戻す感じがしたという。その後、他人の難治療の問題などを診ることを始め、設計とお祈りと治療を統合し、依頼人の経済状態に応じた解決を見出し、病にならない空間を作る仕事をしている。

(4) 結果

Bさん、Cさんとも検査実施当時の自覚症状としては、逸脱した自覚症状を呈することなく、CMIの神経症判別でも正常域に属している。

BさんとCさんの生育史（上記事例）をみると、幼少期より様々な身体症状や精神症状が繰り返し現れているにもかかわらず、カミに仕えるようになった以降、現時点（当時）ではその後遺症的な症状も含めて自覚症状は少ない。さらに、特定の精神的項目（8項目）をチェックできるようになっているが、BさんもCさんもすべての項目に該当していない。

一方、B、Cさん共通に自覚されているものとしては、身体的自覚症状の「消化器系（胃の不具合）」「神経系（麻痺）」「習慣（夢）」と精神的自覚症状の「過敏（神経過敏、人から誤解される）」であり、実際にBさん、Cさんにお会いして感じた彼らの人柄（パーソナリティ）は、別稿にて紹介したAさん（2010年永眠）をはじめ、他のシャーマンの方々と同様に、他人に対して鋭く人間性を見定めつつもすべてを受け入れる器の大きさを感じ、不安や恐れ、不応感や怒りは全く感じられず、柔和で人を包み込む前向きな生き方をされていると感じた。

次にこうした点について、表層的な人格を捉える質問紙からだけでなく、以下に深層部分をとらえているロールシャッハテストの反応結果と面接時の行動について記す。

表1 BさんCさんの「CMI健康調査表」結果

CMI健康調査表結果 (Cornell Medical Index-Health Questionnaire)

		Bさん	Cさん			Bさん	Cさん
身体的 自覚症	A. 目と耳	0	0	憂うつ	該当せず	該当せず	
	B. 呼吸器系	2	0	希望がない	該当せず	該当せず	
	C. 心臓脈管系	0	1	自殺傾向	該当せず	該当せず	
	D. 消化器系	1	4	神経症の既往	該当せず	該当せず	
	E. 筋肉骨格系	0	0	精神病院入院既往	該当せず	該当せず	
	F. 皮膚	0	0	家族精神病院入院既往	該当せず	該当せず	
	G. 神経系	1	1	易怒性	該当せず	該当せず	
	H. 非尿生殖器系	0	0	強迫観念	該当せず	該当せず	
	I. 疲労度	0	0	理由のないおびえ	該当せず	該当せず	
	J. 疾病頻度	0	0				
	K. 既往症	0	0	神経症判別	領域 I	領域 I	
	L. 習慣	3	1				
	C・I・J	0	1	領域 I	正常 (5%の有意水準)		
	計	7	7	領域 II	どちらかといえば 正常		
精神的 自覚症	M. 不適応	0	0	領域 III	どちらかといえば 神経症		
	N. 抑うつ	0	0	領域 IV	神経症 (5%の有意水準)		
	O. 不安	1	0				
	P. 過敏	1	3				
	Q. 怒り	0	0				
	R. 緊張	0	0				
	計	2	3				

名古屋大学式ロールシャッハ特有の「感情カテゴリー」は、ロールシャッハ反応内容に広く分布し反映されている感情的価値、感情表現に注目し、その相違を分析、量化することによって、個人の感情的構造を明らかにするものである。

例えば、「2匹の猿が楽しそうに踊っている」という反応も「2匹の熊が激しく格闘している」という反応も形式的には「D1+1B、FMa +、A」とスコアリングされるが、反応に伴う感情が異なる。

感情カテゴリーには、敵意感情 (Hostility)、不安感情 (Anxiety)、身体的関心 (Bodily Preoccupation)、依存感情 (Dependency)、快的感情 (Positive Feeling)、その他 (Miscellaneous : 口唇、肛門、性への興味も肯定・否定的に決められず、主要カテゴリーに分類できない反応 (分類不能を含む6スコア))、中性反応 (Neutral Responses : 感情的な意味を持った説明がないもの。健常者では40~50%) があるが、全体的にはシャーマン群と非シャーマン群との有意

差は見られなかった。(表2、図1)

シャーマン群・非シャーマン群と名大式カテゴリ出現比率から導き出した反応数の比較から「その他 (M)」と「中性 (N)」に有意差が見られたことから、「(その他 (M))」が多いのは知的に自己顕示的・誇大的であり、「中性 (N)」の少なさは統合失調症、不適応が示唆される。) シャーマン群では外部の物や力への依存、行動を許してくれる強者への欲求がやや高い傾向があった。

表2 感情カテゴリ反応内訳

	シャーマン群 (N=8)	非シャーマン群 (N=6)	名大式 感情カテゴリ 出現比率
H(敵意)	19 (12.2%)	16 (9.4%)	10.50%
A(不安)	16 (10.3%)	24 (14.0%)	13.30%
B(身体)	12 (7.7%)	14 (8.2%)	5.40%
D(依存)	23 (14.7%)	17 (9.9%)	6.90%
P(快的)	34 (21.8%)	36 (21.1%)	17.40%
M(その他)	25 (16.0%)	27 (15.8%)	1.40%
N(中性)	27 (17.3%)	37 (21.6%)	45.20%

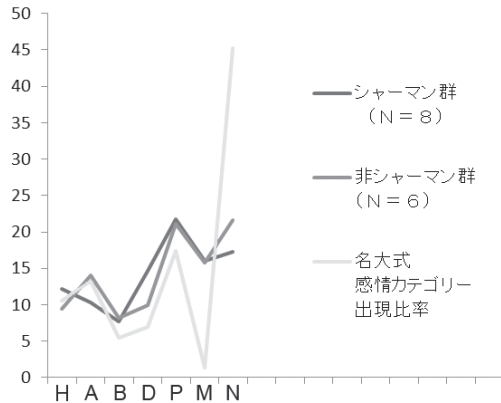


図1 感情カテゴリ反応比率の比較

3. ユタについて

沖縄本島と周辺離島のユタは、その実態数や定かではない。その理由として、①ユタ弾圧以来、世間から身を潜めて生活②ユタの定義の曖昧さなどがあげられる。そうした中、実態はどのように変化して来ているのであろうか。実態数だけでなく、ユタ自身やユタに関わる方法やユタに関わる人自体の変化は如何なるものであろうか。

島村 (2011) は、モンゴル国東部ドルノド県の大草原地帯 (首都ウランバートルからおよそ600km) に位置するある遊牧民のテントの中で「最近は、妙なことが起きる。どこの家に行ってもシャーマンがいる」「幾千ものシャーマンが出てきて、一体どうなることやら」という噂を聞いて、2000年5月聞き取り調査を行い、その結果、調査当時のドルノド県北部の4郡の総人口1万4789人に対してシャーマンは119人 (女性46) 確認でき、民主化 (1990年) 以降の10年間で120人近く (人口比1%) のシャーマンが誕生したことになるとしている。

沖縄では、大橋 (1998) がフィールドを行った沖縄本島北部の3市町村 (名護市、本部町、今帰仁村) の総人口約7万人強の中で、巫業を営むユタ数が30数人であることから、これを基に、当時 (1980年) の沖縄総人口127万人から単純推計して、加えてユタが本島中南部に多

いことを鑑みて、沖縄全体でのユタの総数を少なくとも700人以上とした。さらに、「ユタの人数は近年むしろ増えていると言われている」と記している。

また、塩月・佐藤（2003）は、シャーマニズム復興という意味合いでインターネット・サイト上での霊性ネットワークが広がっていると記している。

筆者が2017年8月にインタビューを行った具志川にある曹洞宗真栄寺住職は、ユタの実数には触れていないが、ユタに関する書籍は増えている。ただ、葬式は仏教式だけど法事ごとは未だユタさんが行っているところが半分位あると付け加えた。

前後するが、筆者が1993年に初めて沖縄に訪れた頃に見聞きしたユタに関する情報（実際にユタに会うことはなかったが）ではその数は今よりは多く、当時に比して2012年、2017年での調査では、ユタ的な霊力は持ちながらユタにはなり切れていないFさんのようにユタ予備軍的な存在が見受けられる一方で、行方不明になっているHさんや調査対象者が高齢で調査が進まなかったということから、ユタは減少傾向にあると感じている。この点に関しては、ユタ関連の実態人数の変遷は把握しきれていないが、前述の大橋や塩月の調査日時と比べて20～40年近くの年月が経っていることも考慮に入れたいといけな。

事例3 Fさん（女性、インタビューおよび検査2012年2月当時61歳）

沖縄本島南部I市にて出生、9人兄弟の8番目。出生後すぐN市に移住し、精肉業を営む父と母に育てられる。母親といところのお姉さんは霊力が高い。

13歳の時、6歳で亡くなった実姉が「お墓の掃除をして」と夢に立ち、数か月後、療養していた父が亡くなる（迎え入れる準備?）。高卒後、19歳の頃、蛍光灯が眩しくて見られず、父方祖母が（自分の中に）入ってきた。23歳の時、酒で亡くなった祖先が入って、1週間食べられず、しゃべりっぱなし。

その後、現在も仕事しながらも、見えたり聞こえたりする。一方、ユタのところにも行く。

⇒ ユタとしてのアイデンティ模索

事例4 Hさん（男性、インタビューおよび検査2012年3月当時53歳）

3人兄弟の真ん中。父親・弟は病死。高卒。卸業の営業をして7、8年後事故に遭う。その後会社員として勤めるが、ある日突然仕事を辞め、店（運勢鑑定、風水家相）を構える。

以前、バイク事故で臨死体験をした後、物理学をベースにした霊数字をもとに礼節を重んじつつ、神（天照大神）から降りてきたメッセージを伝えている。

今もいつも神に見られ声も聞かれており、神の僕と感じている。 ⇒ 2017年行方不明

4. 近年の変化

日本のマスコミでは、1990年代前半頃よりスピリチュアル・ブームが起こった。具体的には、1992年にはファッション雑誌「CanCam」に「スピリチュアル」が取り上げられ、2003年には江原啓之ひろゆきがテレビ東京の深夜バラエティ番組『えぐら開運堂』に毎週レギュラー出演し、2005年4月からは美輪明宏と共にスピリチュアルな視点から人生を説くテレビ番組『オーラの泉』（2009年3月まで）が放送され、2006年にはスピリチュアル&ヒーリング・マガジン「アネモネ」を創刊した「ビオ・マガジン」が設立されている、しかし、その後、霊的なもの

(出典) 総務省「通信利用動向調査」より作成

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>

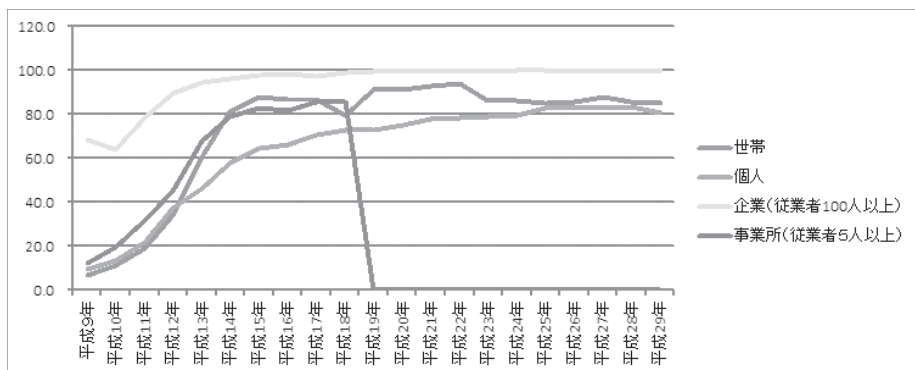


図2 インターネット利用動向の変化

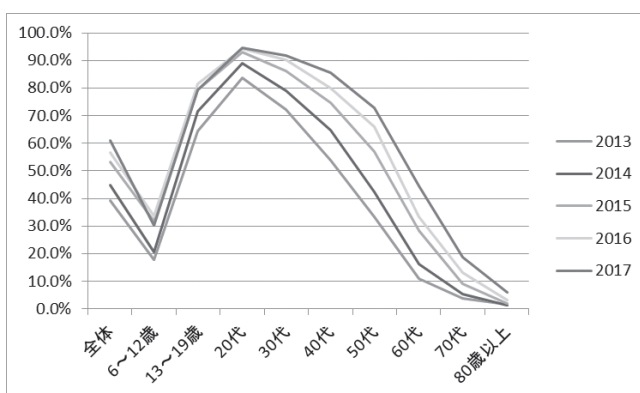


図3 スマートフォンの個人保有率の推移

(出典) 総務省「通信利用動向調査」(各年)より作成

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/html/nd142110.html>

への疑惑や批判が相次ぎ、日本民間放送連盟が定める放送基準 第8章に「非科学的な迷信やこれに類する運命・運勢鑑定、靈感、霊能等を取り上げる場合は、これを“肯定的に取り扱わない”」と記述されているように、TVをはじめとするマスコミでも霊的・スピリチュアル的なものは取り上げない傾向となる。そのため霊的・スピリチュアル的なものは影を潜め、代わりに2000年頃から急激に利用者が増加してきたインターネットでの表現や告知、関わりを持つようになってきていると思われる。

塩月（2004）は、「聖地とされる『場』をシャーマンと共に訪れること重視する『伝統的』シャーマニズム」から「個人の抱える病や痛みの体験を語り合う『場』がインターネット上で形成されつつある」とし、ユタ自身は、場（家）で構え、ユタ買いに来た人（クライアント）を受け入れ、ともに苦しみや痛みに向き合う従来型（伝統型）のユタではなく、心身の痛みを共有する人々による相互扶助グループの形成や書籍やTV等による一方的発信による方式が台頭し蔓延してきていると考えられる。

それを推し進める原因の一つとして、携帯電話やインターネットの普及、単なる電話としてでないインターネット検索が可能であるスマートフォンが普及したことで、沖縄文化としてのユタの存在を知らなかった人たちが、手軽にユタに触れ、実際に会う機会を作ることが出来るようになってきている（図2，3）。

そこで、近々でのインターネットの「利用動向の変化」と「沖縄・ユタ」をキーワードとした現状を検索してみた結果を以下に示す。

また、インターネット検索上位20におけるユタ関連サイト（「沖縄」「ユタ」で検索 約3,760,000件ヒット 2019.07.07）は以下のものであった。

① 「みやこ島お仕事図鑑」（2017.05.25） <https://okinawa-mag.net/yuta/>

「沖縄の「ユタ」に会ってスピリチュアルなカウンセリングを受けてみた」というタイトルで、沖縄に移住したライターの鈴木サラサさんがうるま市の島袋千鶴子氏の鑑定を受けに行く記事。手相や家相、タロットや四柱推命で鑑定。グッズやパワーストーンも販売。

② 「沖縄の当たる占い師 ユタに会う」（2018.12.25） <https://zired.net/okinawa/>

ユタを探す前の予備知識、「生粋のユタ」の定義、情報の集め方、ユタの鑑定を受けるポイントなどの記載の後、「沖縄の当たる占い師「ユタ」おすすめ一覧」として、タロット占いや電話占いのキララ先生、メールや電話セッションを行う名護市の久遠先生、大手電話占いサービスを行う咲耶ローズマリー先生、父方祖先は中国系占術師の家系を持つ那覇市の美杏先生、九星気学を用いる宜野湾市のヨギジュン先生ほか全14名を紹介。

③ 「沖縄にいる！ 有名ユタさん3選」（掲載日付なし） <https://uratte.jp/posts/okinawa-yuta-yuumei>

本物のユタとして、沖縄市登川の比嘉栄子さん、北中城村の又吉陽子さん、アメリカ生まれの沖縄育ちでうるま市のミシェルさんを紹介。さらに占いアプリ「アルカナ」のダウンロードに導いている。 運営会社：電話占い・チャット占いアカルナ

- ④ 「沖縄の4人のユタさんに会って来たお話③★煙草の煙をくゆらして。」(2018.04.03)

<https://ameblo.jp/naomitakamine/entry-12365594027.html>

福岡でタロット占い師をしている高橋ナオミのブログで、浦添市のT先生に会いに行った記事。

- ⑤ 「沖縄の悲劇と大半のユタの大罪」(2016.08.31)

<https://ameblo.jp/nonokao-blog/entry-12195453355.html>

他に「宇宙共通心クラブ」とか「心づくり共室」紹介している京都の女性のブログ。

- ⑥ 「沖縄のユタでよく当たると有名なのは誰？ おすすめの霊能者や選び方まで紹介！」(2018.08.24 (2019.05.19最終更新)) <https://travel-noted.jp/posts/20853>

オーラを読み取る占い鑑定を行う久遠迪知先生、先祖の霊や守護霊等と交信を行い祈祷や様々な拝みも行う又吉陽子先生、メールや電話での鑑定は行わず直接対面鑑定のみを行う比嘉栄子先生、直接対面の他にも電話鑑定やSkypeを通じた鑑定も行っているアメリカで生まれて沖縄で育ったハーフのミシェル先生、先祖代々100年以上も続く沖縄のユタの直系の血を引く子孫のHARAKAWA先生ら全10名を紹介。

- ⑦ 占い・開運・スピ総合サイト「ハピズム」より「実際、“ユタ”ってどうなの？ ユタに会ったライターが赤裸々に綴る」(2013.09.01) http://happism.cyzowoman.com/2013/09/post_2947.html

百瀬直也(超常現象研究家。シャーマニズム、古代史、民俗学なども研究。各種カウンセリングも行う。ブログ『探求三昧』主宰。)

- ⑧ 「沖縄のユタ・占い (soul adviser 魂の助言者) 比嘉栄子の公式サイト」(公開・更新日時の記載なし) <https://higaeiko.com/>

1時間・料金：5,000円(浄霊が必要な場合別途2,000円)など記載

- ⑨ 「沖縄ユタ本物の見分け方はあるの？」(2018.10.05) <https://turiguking.com/yuta-miwakekata.html>

ユタの選び方、予約方法を記載。新米霊能者の『ニヤンドロメダ』が管理者？ また、本物の霊能者のいるサイト ベスト3も紹介している。

表3 サイト毎の比較

サイト名	ヴェルニ	ウラナ	Will
霊能者の多さ	1位	2位	3位
在籍数	696名	151名	187名
メディアでの紹介	多数	多数	多数
クレジットカード	○	○	○
銀行振込	○	○	○
ネットバンキング	○	○	×
コンビニ決済	○	○	×
フリーダイヤル	○	○	○
無料お試し +基本操作	1500円分 +10分無料の ガイドで最大 1000円分 最大2500円無料	1分以内は無料 表記がある 鑑定士は10分無料	3000円分
口コミ・評判	口コミ	口コミ (外部)	口コミ (外部)

⑩ 「最後の琉球ユタ はる」(公開日時の記載なし) <https://haru.ura9.com/spsb/>

会員登録+ログイン後、会員ページへ移動。

⑪ 「沖縄のユタは？ 本物でも注意と予備知識を持って」(2018.09.19) 元靈感占い師で Web
デザイナー兼ライターの男性が管理。

<https://ataru-reishi.blogspot.com/2018/08/okinawa-yuta-honmono.html>

沖縄のユタは本物の霊能力者であることを前提として、どちらかといえば亡くなった人の
メッセージを伝える傾向が高い、と説明し、自ら相談した3名を推薦。YouTubeで「沖縄霊能
者(ユタ)」https://www.youtube.com/watch?time_continue=656&v=2mxg6oyI19wを紹介。

また、「若い沖縄のユタほどの力がある人の中には、学問を修めている場合もあり、ただの
拝み屋や先祖供養を行うユタと思われたくない思いも強く、スピリチュアルカウンセラーや占
い師としての肩書で相談に応じられている場合もある」としている。さらに、本物の霊能力者
について「沖縄のユタに限らず、青森の本物のイタコも、目の虹彩が青い(青黒い)傾向にあ
る」と述べている。

⑫ 「沖縄【ユタ】本物はどこ!? 占い師に鞍替え!? 弾圧の歴史も」(2018.10.04) 管理人沖
縄—パワースポットの番人— <https://pow-spo.com/>

全国都道府県別のパワースポットを網羅し、おすすめから穴場までアクセス情報も紹介。沖
縄は、「県内外の投資家が土地を買いあさり、バブルさながらの様相を呈しています。超巨大
な複合商業施設がそびえたち、内地のチェーン店舗が軒を連ね、町の新陳代謝も激しくなっ

います。(中略) 実際、巨大資本の犠牲になり、この地上から消滅してしまった聖地も存在します。」と様変わりする沖縄とユタの伝統について記載。

- ⑬ 「琉球スピリチュアルマネジメントオフィスつなぐ 琉球神記「ユタ七判事」」(2018.11.17)
<http://tsunagu.ryukyu/blog/> 管理人：出雲大社神主である夫を持つ女性。自身のユタ判断経験記(7人)。

- ⑭ 「【本物！】沖縄の当たるおすすめ占い師・ユタのガチ口コミ情報！」(2018.07.18)
<https://uranai-12.com/fortune-telling-okinawa/>
沖縄県でおすすめの占い店について紹介。比嘉栄子、又吉陽子、ミシェルを比較紹介し、LINE トーク占い・電話占いに導入。

- ⑮ 「沖縄の『ユタ』まとめ！ 有名なおすすめカウンセラーなど口コミ付きで紹介！」(2018.12.10)
<https://travel-star.jp/posts/2458>

ユタ占い師として sora を取り上げ、「沖縄の伝統的な「ユタ」の家系ですが、現在「sora」は、結婚し、沖縄ではなく、本土での活動を中心に行っております」相談内容について「鑑定不可能な相談は、土地購入の方角や、引っ越しの方角などの方角の鑑定となっております」と内容を限定。

- ⑯ 「スピリチュアルな沖縄・・・ユタって何？」(2016.11.07、2017.03.05更新)
<http://www.traveler-map.com/10346>
ユタの修業の場として、宜野湾市の森川公園や大山貝塚を紹介。沖縄旅行情報からユタ、占いを紹介。

- ⑰ 「未来を占う沖縄のシャーマン！ 当たる本物のユタに会う方法」(公開日時記載なし)
<https://serendipity-japan.com/okinawa-yuta-12779.html>
管理：セレンディピティと記述(内容不明) 3人のユタによる鑑定体験記。鑑定方法として、1. 唄を歌いながら神様と交信する。2. 神棚に手を合わせてハンジをおこなう。3. 手に触れて相手の未来を読む。と記述。

- ⑱ 沖縄県の地域情報発信サイト さんさん沖縄「沖縄のユタの世界ってどんなもの？」(2018.02.12) <http://sansannokai.org/okinawa-life/300>
沖縄のグルメ、生活、移住、観光など情報サイト。ここでは、沖縄の神様(来訪神、守護神、ヨナリ神)とユタについて記述。

- ⑲ 「沖縄のユタ 又吉陽子」ホームページ(公開・更新日時の記載なし)
<https://matayoshiyouko.okinawa/>
鑑定内容(未来、健康、結婚など)と料金(1時間5千円)、ユタになった経緯など記載。

⑳ 「ユタ直系・島袋千鶴子の琉球推命」ホームページ（公開・更新日時の記載なし）

<http://www.biglobe.venusfortune.com/r-suimei/>

新着、おすすめ、特別鑑定、完全無料、恋愛・結婚、仕事・人生全121メニュー（完全無料～1890円）から選択。

表4 ユタ関連サイトの分類

ユタを紹介（電話やチャットなどに誘導）	②	③	⑥	⑨	⑭	⑰
ユタ体験記・意見（ブログ）	①	④	⑤	⑦	⑬	
ユタ（占い師）(?) 本人のホームページ	⑧	⑩	⑱	⑳		
沖縄・旅サイトでユタ情報提供	⑮	⑯	⑱			
スピリチュアルとしてのユタ情報紹介	⑪	⑫				

上記の結果を鑑みると、上位20サイトのうち30%がサイト内で数名から10名ほどのユタを紹介し、ユタや管理者（もしくは会社）と繋がるようになっている（②③⑥⑧⑨⑩⑭⑰⑱⑳）。また、ユタ本人のHPでは電話番号や連絡方法、利用料金や受け付ける悩みや相談内容の種別が記載されており、直接連絡が取れるようになっている（⑧⑩⑱⑳）。つまり、従来ユタに会うための方法は、知り合いや口コミにより紹介されるなどしてから自らユタのもとに出向いていくのであるが、上位20のうちの半分のサイト（前述）は、インターネットを利用しサイトに繋がるだけで、ユタの知識や情報が皆無でも、また、自らもユタ自身も実際に移動することなく、それぞれが繋がるのである。その方法も様々で、電話やメールをはじめ、Skypeやチャットを用いており（②③⑥⑭）、支払い方法もクレジット、ネットバイキング、コンビニ決済など（⑨）多種である。

こうした点は、本来ひっそりと生業を立てていたユタと比べると、インターネットでの露出度は多く、自己顕示欲が強い傾向が見受けられ、いわゆる伝統型（従来型）のユタとの相違がみられた。

インターネット利用の特徴としては、⑨に代表されるように、3人の霊能者を比較・検討・選択し、クレジットやコンビニ決済などが可能かどうか、お試し（トライアル）が可能かなどの項目が存在することは、クリック1つで購入可能ないわゆるネットショッピングと変わらない様相を呈しており、ユタやシャーマンとのかかわりの取っ掛かり・導入として、直接彼らに対峙することなくインターネットを経由し、ワンクッション置くことでの敷居の低さ・手軽さがユタ側もユタに関係・紹介する側にとってもユタを買うこと（利用すること）や関心を示す人（客層）のすそ野を広げることとなっている。そして、それを機にした仕組みも見られた（⑮⑯）。

こうした点について、塩月・佐藤（2003）は、自らのシャーマン体験ツアーの実際も紹介したうえ、日本におけるシャーマニズム復興現象はインターネット上にもみられ、シャーマニズム関連サイトは学術系、情報提供系、実践系、相談系の4種に大別され、霊性のネットワーク作りを実践していると述べている。

また、石附（2006）は、インターネットを介して「本土出身者がユタ的世界に足を踏み入れている」とし、「今日の沖縄シャーマニズムは、もはや狭い意味で沖縄という地域と沖縄出身内部のみで完結しなくなっている」とも述べている。こうした点は、沖縄は急速に新陳代謝が激しく変化しており（⑫）、沖縄以外の地（本土）で活動を行う（⑮）ユタのサイトが散見されている状況に匹敵すると考えられる。

様々なモノやヒトが変化・変容をしている昨今、従来型（伝統的）ユタやユタとかわる人たちの在り方は、今後どのようになっていくのであろうか。人間的なシャーマニズムと機械的なインターネット（IT、ICT、IoT）がどのように関わり、沖縄（日本）におけるシャーマニズムがどのように変化していくのか、これからの沖縄におけるシャーマニズムについて見守り続けたい。

文献

- (1) 青木佐奈枝（2007） 解離性障害者のロールシャッハ特徴—下位障害の比較— ロールシャッハ法研究 11, 13-23
- (2) 荒川歩・安田裕子・サトウタツヤ（2012） 複線径路・等至性モデルのTEM図の描き方の一例 立命館人間科学研究, 25, 95-107
- (3) 東資子（2019） 病い癒すシャーマン 日本経済新聞 5月4日
- (4) Elade, M. (1958) Birth and Rebirth Haper & Brothers, New York (堀一郎訳 1998 生と再生 東京大学出版会)
- (5) Elade, M. (1968) Le Chamanisme (堀一郎訳 2004 シャーマニズム (上・下) 筑摩書房)
- (6) 濱雄亮（2011） 足枷から資源へ ユタ評価の重要性 サイバー大学紀要 3, 67-87
- (7) 比嘉康雄（2017） 日本人の魂の原郷 沖縄久高島 集英社
- (8) 外間守善（2016） 沖縄の歴史と文化 中央公論新社
- (9) 池上良正（1992） 民俗宗教と救い 淡交社
- (10) 石附馨（2006） ユタをめぐる新状況—多様化する依頼者・多様化する対応— 宗教学研究 79(4), 1236-1237
- (11) 伊藤雅之（2009） 現代社会とスピリチュアリティ 溪水社
- (12) 片山恵利 沖縄における民間信仰の現在 (山中康弘監修 魂と心の知の探究 心理臨床学と精神医学の間 創元社 517-522 所載)
- (13) 加藤之晴 鏡リュウジ（2018） シャーマンの脱魂型と憑依型の二分類を考える

- (14) 上江田芳江 (1969) ユタのパーソナリティ特性—ロールシャッハテストを中心に— 琉球大学教育学部卒業論文
- (15) 河合隼雄 (2000) 心理療法とイニシエーション 岩波書店
- (16) 岸本寛史 (編) (2002) 山中康裕著作集 4巻 たましいの深み 心理臨床の探究2 岩崎学術出版社
- (17) 松井裕子、堀尾一也、大橋英寿 沖縄のシャーマン〈ユタ〉のパーソナリティ特性 ロールシャッハ研究 24 85-88 1982
- (18) 又吉正治 (1993) 琉球文化の精神分析①～③ 月刊沖縄社
- (19) 長嶺伊佐雄・長嶺哲成 (2011) カミングワ 家族を癒す沖縄の正しい家相 ボーダーインク
- (20) NPO 法人久高島振興会 (2013) 久高島猫の巻 表
<http://www.kudakajima.jp/nekonomakiomote.pdf> (閲覧日: 2017年8月10日)
- (21) NPO 法人久高島振興会 (2013) 久高島猫の巻 裏
<http://www.kudakajima.jp/nekonomakiura.pdf> (閲覧日: 2017年8月10日)
- (22) 沼初枝・大貫敬一・佐藤至子 (2007) 統合失調症患者の公共反応—第II・III・VII図版の人間像反応について— ロールシャッハ法研究11, 61-71
- (23) 岡部隆志・斎藤英喜・津田博幸・武田比呂男 (2001) シャーマニズムの文化学 森話社
- (24) 岡本太郎 (2016) 沖縄文化論 中央公論新社
- (25) 沖縄観光コンベンションビューロー編 (2000) 美ら島 沖縄観光コンベンションビューロー
- (26) 大橋英寿 (1998) 沖縄シャーマニズムの社会心理学的研究 弘文堂
- (27) 大橋英寿 (2000) 沖縄のシャーマンにみる癒し 心身医学40-6, 423-428
- (28) 大宮司信 憑依の精神病理 (1993) —現代における憑依の臨床— 星和書店
- (29) ピアーズ・ヴィテブスキー 中沢新一訳 (1996) シャーマンの世界 創元社
- (30) 桜井徳太郎 (1988) 桜井徳太郎著作集6 日本シャーマニズムの研究 下—構造と機能— 吉川弘文館
- (31) 桜井徳太郎 (2000) シャーマニズムとその周辺 第一書房
- (32) 斎藤裕 (2013) 精神科医が『カミングワ』から教わったこと ボーダーインク Samara, T (2004) Shaman's Wisdom (奥野節子訳 2014 シャーマンの叡智 ナチュラルスピリット)
- (33) 佐々木宏幹 (2001) 聖と呪力の人類学 講談社
- (34) 佐々木宏幹 シャーマニズム (『宗教学辞典』小口偉一・堀一郎編、東京大学出版会、1973, 249-253)
Harner, Michael, 1980, The Way of the Shaman, New York; John Brockman. (マイケル・ハーナー, 『シャーマンへの道』高岡よし子訳 平河出版社 1989)
- (35) サトウタツヤ (編) (2009) TEM ではじめる質的研究 誠信書房
- (36) 塩月亮子 (2012) 沖縄シャーマニズムの近代 聖なる狂気のゆくえ 森話社
- (37) 塩月亮子・名嘉幸一 (2002) 「肯定的狂気」としてのカミダリー症候群—心理臨床家を訪れたクライアントのケース分析— 日本橋学館大学紀要第1号 109-123
- (38) 塩月亮子 佐藤壮広 (2003) インターネットにみる今日のシャーマニズム—霊性のネットワークキング— 日本橋学館大学紀要第2号 79-88
- (39) 塩月亮子 (2004) インターネットによる日本の「伝統的」シャーマニズムと癒し 日本橋学館大学紀要第3号 109-118
- (40) 島村一平 (2011) 増殖するシャーマン—モンゴル・ブリヤートのシャーマニズムとエスニシティ— 春風社

- (41) Stepanoff, C., Zarccone, T. (2011) Chamanism (遠藤ゆかり訳・中沢新一監修 2014 シャーマニズム 創元社)
- (42) 須藤義人 (2011) 久高オデッセイ 晃洋書房
- (43) 高江洲義英 (1983) 南島からみる精神医学と風土 (現代思想11-11 青土社 1983 66-82 所蔵)
- (44) 高橋二郎・大野裕監訳 (2014) DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き 医学書院
- (45) 谷口貢 (2000) シャーマン (巫者) と成巫過程 (櫻井徳太郎編 2000 シャーマニズムとその周辺 第一書房 65-79)
- (46) 友寄隆静 (1981) なぜユタを信じるか 月間沖縄社
- (47) 湧上元雄・大城秀子 (2010) 沖縄の聖地一拝所と御願一 むぎ社
- (48) 渡邊欣雄 (2002) 沖縄文化の拡がりの変貌 榕樹書林
- (49) Virebsky, P. (1995) The Shaman (中沢新一監修・岩坂彰訳 (1996) シャーマンの世界)
- (50) 安田裕子・サトウタツヤ (編) (2012) TEM でわかる人生の径路一質的研究の新展開一 誠信書房
- (51) 安田裕子・滑田明暢・福田茉莉・サトウタツヤ (2015) TEA 理論編 新曜社
- (52) 横山彰人 (2001) 子供をゆがませる間取り 情報センター出版局
- (53) 座間味栄議 (2008) まるごとわかる! ユタ むぎ社

URL

- ① <https://okinawa-mag.net/yuta/>
「みやこ島お仕事図鑑」(2017.05.25)
- ② <https://zired.net/okinawa/>
「沖縄の当たる占い師 ユタに会う」(2018.12.25)
- ③ <https://uratte.jp/posts/okinawa-yuta-yuumei>
「【口コミ付き】沖縄にいる! 有名ユタさん3選」(掲載日付なし)
- ④ <https://ameblo.jp/naomitakamine/entry-12365594027.html>
「沖縄の4人のユタさんに会って来たお話③★煙草の煙をくゆらして。」(2018.04.03)
- ⑤ <https://ameblo.jp/nonokao-blog/entry-12195453355.html>
「沖縄の悲劇と大半のユタの大罪」(2016.08.31)
- ⑥ <https://travel-noted.jp/posts/20853>
「沖縄のユタでよく当たると有名なのは誰? おすすめの霊能者や選び方まで紹介!」(2018.08.24(2019.05.19 最終更新))
- ⑦ http://happism.cyzowoman.com/2013/09/post_2947.html
「占い・開運・スピ総合サイト「ハピズム」より「実際、「ユタ」ってどうなの? ユタに会ったライターが赤裸々に綴る」(2013.09.01)
- ⑧ <https://higaeiko.com/> (公開・更新日時の記事なし)
「沖縄のユタ・占い (soul adviser 魂の助言者) 比嘉栄子の公式サイト」
- ⑨ <https://turiguking.com/yuta-miwakekata.html>
「沖縄ユタ本物の見分け方はあるの?」(2018.10.05)
- ⑩ <https://haru.ura9.com/spsb/>

「最後の琉球ユタ はる」(公開日時の記載なし)

- ⑪ <https://ataru-reishi.blogspot.com/2018/08/okinawa-yuta-honmono.html>
「沖縄のユタは? 本物でも注意と予備知識を持って」(2018.09.19)
- ⑫ <https://pow-spo.com/>
「沖縄【ユタ】本物はどこ!? 占い師に鞍替え!? 弾圧の歴史も」(2018.10.04)
- ⑬ <http://tsunagu.ryukyu/blog/>
「琉球スピリチュアルマネジメントオフィスつなぐ 琉球神記「ユタ七判事」」(2018.11.17)
- ⑭ <https://uranai-12.com/fortune-telling-okinawa/>
「【本物!】沖縄の当たるおすすめ占い師・ユタのガチ口コミ情報!」(2018.07.18)
- ⑮ <https://travel-star.jp/posts/2458>
「沖縄の『ユタ』まとめ! 有名なおすすめカウンセラーなど口コミ付きで紹介!」(2018.12.10)
- ⑯ <http://www.traveler-map.com/10346>
「スピリチュアルな沖縄・・・ユタって何?」(2016.11.07、2017.03.05更新)
- ⑰ <https://serendipity-japan.com/okinawa-yuta-12779.html>
「未来を占う沖縄のシャーマン! 当たる本物のユタに会う方法」(公開日時記載なし)
- ⑱ <http://sansannokai.org/okinawa-life/300>
沖縄県の地域情報発信サイト さんさん沖縄「沖縄のユタの世界ってどんなもの?」(2018.02.12)
- ⑲ <https://matayoshiyouko.okinawa/>
「沖縄のユタ 又吉陽子」ホームページ(公開・更新日時の記載なし)
- ⑳ <http://www.biglobe.venusfortune.com/r-suimei/>
「ユタ直系・島袋千鶴子の琉球推命」ホームページ(公開・更新日時の記載なし)
- ㉑ <https://www.j-ba.or.jp/category/broadcasting/jba101032>
日本民間放送連盟放送基準(2015.11.9改訂)
- ㉒ <https://www.nic.ad.jp/timeline/>
JPNIC アーカイブス インターネット歴史年表(2017.10.27更新)
- ㉓ <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/html/nd142110.html>
総務省 平成30年度版情報通信白書 インターネット利用の拡がり